

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/1f0ed2e006c5b0072023d3255098c19c.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/353d015de51741c7bdda546803e86dbb.pdf
財産目録	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/c0ce3a474e0e98e04b63c10fc7d85d55.pdf
事業報告書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/f47cb7dc9c27c219599b1e158bedb8e2.pdf
監事による監査報告（書）	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/3f156d7c078f4f5f1d3c5bf40279ddb0.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

<自動車整備科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,900	747		1,153		
		単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	
		1,900 単位時間／単位	1,900 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		97人	26人	人	15人	15人	
人数は2022年5月31日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の1・2 年次は同一授業のため全教員が兼任している							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。 ・1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする。 ・1年次：890時間、2年次：1010時間の専門教育を行う。 <p>・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。</p> <p>※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/05/d2786b11b83c1b19f153515e75b8f296.pdf</p> <p>※2 Google Workspace for Education のweb サービス「Google Classroom」</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。可否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)</p> <p>一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資格 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる 2. 技術 <ol style="list-style-type: none"> ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている 3. 人間力 <ol style="list-style-type: none"> ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる
学修支援等
(概要) ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55人 (100%)	0人 (0%)	55人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
(就職指導内容)			
・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・国家2級自動車整備士(ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン) ・日産3級テクニカルスタッフ(T/S)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

<自動車整備・ボディリペア科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・ボディリペア科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,800 単位時間/単位	930 単位時間/単位	単位時間/単位	1,870 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		49人	6人	人	17人	17人	
人数は2022年5月31日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の1年次・2年次の兼任15人、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の3年次兼任2人							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は45週とし1週間の授業時限は原則として20時限とする。 ・1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする。 ・1年次：890時間、2年次：1,010時間、3年次900時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。 ※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/03b73bc22a54796808778585471769b3-2.pdf ※2 Google Workspace for Educationのwebサービス「Google Classroom」
成績評価の基準・方法
(概要) 学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。可否の判定は下記「判定基準」により行う。 (判定基準) 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

(概要)

進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)

〈1・2年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

1. 資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

2. 技術

① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

3. 人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する

1. 資格

① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる

2. 技術

① 日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産サービス技術習得制度の日産1級、2級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。

3. 人間力

① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる

② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談
- ・教科担当による補習授業
- ・学年統括による生活指導
- ・専門カウンセラーによるカウンセリング
- ・学生動向の学年情報共有など

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	34人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
(就職指導内容) ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・国家2級自動車整備士(ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン) ・国家車体整備士 ・日産3級テクニカルスタッフ(T/S)、日産3級塗装士、日産3級車体整備士			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

<自動車整備・カスタマイズ科>

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	自動車整備・カスタマイズ科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,675 単位時間/単位	1,060 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,615 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位
			3,675 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	83人	4人	1人	17人	18人		
人数は2022年5月31日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の1年次・2年次の兼任16人、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の3年次兼任2人							

<p>カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)</p>
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。 ・1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする。 ・1年次：890時間、2年次：1,010時間、3年次900時間、4年次875時間の専門教育を行う。 <p>・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。</p> <p>※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/033369aleae6d61475d4fd120f5a6d92-1.pdf</p> <p>※2 Google Workspace for Educationのwebサービス「Google Classroom」</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。可否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。 ただし、4年次は授業時間数の80%以上を満たした場合とします。
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)</p> <p>〈1・2年次〉</p> <p>一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資格 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる 2. 技術 <ol style="list-style-type: none"> ① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

3. 人間力

- ① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

1. 資格

- ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる

2. 技術

- ① 日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
- ② 日産サービス技術習得制度の日産1級、2級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産3級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。

3. 人間力

- ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
- ② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈4年次〉

カスタムカー製作のノウハウを習得し、その製作プロセスから主体性を基本とした積極性やリーダーシップを培った者に卒業証書を授与する

1. 資格

- ① 国家2級金属塗装士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として高度な知識と技術を有している

2. 技術

- ① 豊かな創造力でカスタムカーをデザインすることができる
- ② 車体整備の知識と技術によって、カスタムカーのデザインから製作までを計画的に行うことができる
- ③ 対外的な交渉を行うためのプレゼンテーションと折衝のスキルを身につけている

3. 人間力

- ① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
- ② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている
- ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思がある
- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0.0%)	13人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) <ul style="list-style-type: none"> ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など 			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど 			
(主な学修成果(資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・国家2級自動車整備士(ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン) ・国家車体整備士 ・日産3級テクニカルスタッフ(T/S)、日産3級塗装士、日産3級車体整備士 ・国家金属塗装士 			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど 		

<一級自動車工学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,760 単位時間/単位	1,175 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,585 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/ 単位
			3,760 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
305人	245人	12人	8人	15人	23人		
<p>人数は2022年5月31日時点のものを記載している 自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、一級自動車工学科の1・2年次は同一授業のため全教員が兼任している</p>							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。 ・1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする。 ・1年次：890時間、2年次：1,010時間、3年次950時間、4年次910時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、外部及び学生に公開している。 <p>※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/05/1fd48ad120066319ba799bcbdf2ad626.pdf</p> <p>※2 Google Workspace for Education のwebサービス「Google Classroom」</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とします。 ただし、資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 優：80点以上、良：70点以上、可：70点未満とします。 4) 評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

(概要)

進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)

〈1・2年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

1. 資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

2. 技術

① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

3. 人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3・4年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する

1. 資格

① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している

2. 技術

① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している

② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる

③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している

3. 人間力

① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる

② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている

③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している

④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等			
(概要)			
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など 			
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	0人 (0.0%)	47人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・国家2級自動車整備士(ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン) ・国家1級小型自動車整備士 ・日産3級テクニカルスタッフ(T/S)、日産2級テクニカルスタッフ(T/S) ・日産3級テクニカルアドバイザー(T/A) 			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
242人	5人	2%
(中途退学の主な理由)		
学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	学年	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
自動車整備科 自動車整備・ボディリペア科 自動車整備・カスタマイズ科	1年次	240,000円	642,000円	591,000円	入学検定料 25,000円 施設設備費 230,000円 実験実習費 130,000円 学生諸費用預り金 206,000円
一級自動車工学科	2年次	—	642,000円	484,000円	施設設備費 230,000円 実験実習費 130,000円 学生諸費用預り金 124,000円
自動車整備・ボディリペア科 自動車整備・カスタマイズ科	3年次	—	642,000円	616,000円	施設設備費 230,000円 実験実習費 170,000円 学生諸費用預り金 216,000円
自動車整備・カスタマイズ科	4年次	—	642,000円	646,000円	施設設備費 230,000円 実験実習費 170,000円 学生諸費用預り金 246,000円
一級自動車工学科	3年次	—	642,000円	630,000円	施設設備費 230,000円 実験実習費 220,000円 学生諸費用預り金 180,000円
	4年次	—	642,000円	574,000円	施設設備費 230,000円 実験実習費 220,000円 学生諸費用預り金 124,000円

修学支援(任意記載事項)	
① 選抜奨学金	
特待生奨学金	: 1年次授業料 250,000円免除
遠隔地奨学金	: 1年次授業料 250,000円免除
② 特別奨学金	
女子奨学金	: 1年次授業料 50,000円免除
留学生特別奨学金	: 1年次授業料 250,000円免除
③ 企業奨学金	
日産販売会社奨学金	: 各販売会社が独自の奨学金を支給
リアライズ奨学金	: 2年間学費 1,000,000円支給

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2022/06/70d351bac89a60d3a4a25507ead6248b.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者による学校評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ることを目的に、地元有識者、企業等委員、卒業生からなる「学校関係者評価委員会」を設ける		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社) 京都自動車整備振興会 専務理事	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	団体代表
京都府自動車車体整備協同組合 事務局長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	団体代表
株式会社京都日産 執行役員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業代表
株式会社近畿日産 監査支援部部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業代表
日産大阪販売株式会社 BP事業部部長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	企業代表
京都府立田辺高等学校 自動車科学科 科長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	高校代表
和自動車販売株式会社 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生代表
日産サービスセンター株式会社 阪神 支社 総務部総務課 課長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日(2年)	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/09/0b82bb8badcaf93ec8db745e4adb7995.pdf		

第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページにて公開

学校ホームページのトップページ

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/>

情報公開のトップページ

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/infomation.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H126310000363
学校名	専門学校 日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		77人	73人	79人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	57人	56人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				79人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-
訓告	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	-	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。